



早春……3月は青春の月 生物はみな

いろいろなの中に成長する

数回にわたる寒波の襲来に、あわやことしもまたまた豪雪かと不安に陥ったり、また、立春を過ぎてからも再び寒気団の停滞などの現象があったりしてヒヤヒヤしたこともあったが、どうやら何とかスコップをもって屋上に上がることのないまま冬が終わった感じで、ほっと安どの胸をなでおろしている。

過去には、桜の花が咲いていて、チラチラ雪が降るといった寒春異変ともいえる珍現象もあったが、多少の異変はあるにしても、もう3月の声を聞けばしめたもの、冬は終わったも同然であろう。

いつ消えるとも思えないほど積もった野面の雪も、連日の雨のためすっかり消え果て、近くの山すそは、その醜いまでに色あせた姿を見せながらも、早速と春の装いに取いかかろうとする気配が見うけられる。

雪にひしがれた雑草は、かつての緑を取り戻そうとうごめき、ふきのとうは、雪解け遅しとばかり首をもたげて立ち上がり野も山も巷も、目に映るものみな、既に早春の表情であり、やがて春は足音高くやってくるの感じがみなぎっている。

何といっても雪解けの最も早いのは海浜地帯であろう。かつて猛吹雪と共に荒れ狂った海も、今はようやく静かなただずまいを見せ、一日、快晴ともなれば、早春の日ざしはまだ弱くとも砂浜はたちまち乾き、春の表情に急変する。

こどもたちは、長く、そして暗い北陸の冬から解放され、日曜ともなれば、青空を仰いで自由に手足を伸ばそうとして、乾いた砂浜を求めて集まってくる。

人気のない砂浜はたちまちにしてこどもたちの楽園と化す。

期せずして自然発生的に、相撲がはじまり、ボール投げが行なわれる。

ほおをまっかにして、この勝負いかにと真剣に見守る眼、砂だらけの鼻の下を、しもやけにふくらんだにぎりこぶしでこすりながら相手にぶつかっていく子。

波のうねりと共に日本海を渡ってくる風はやはりまだ冷たい。

解放感に高ぶったこどもたちの感情は、早春の冷たい風の入りこむすきまさえ与えないのだろうか。

風はこどもたちの頭上を通り抜け、防潮林の根方に生えるすすきの枯葉をカサカサ打ち鳴らしながら山の方へ吹き抜けてゆく。

3月という月は落ち着いた月であり、人間で言えば青春に当たり、常にいらした月であるといわれている。

暖かいと思えば急に寒くなり、突風が吹き、不規則な雨が続くといったような気候の激変のくりかえしの多い月でもある。

また、3月は青春と同じく成長の月であり、生物はみなそのいろいろなの中で成長を遂げていくのだといわれる。

「春は名のみ……」の名歌もあるが、早春とは、感傷とロマンと焦そうの象徴であろう。

巷には卒業、受験、就職、転任、退職と親もこどもも目の色を変えて東奔西走している。

早春、まこと多感にして、遠い山脈はかたくなに白い。

(編集委員 間部善治)

米の生産調整に協力を!!

朝日町に一三〇haの調整割当

新聞やテレビで報じております米の生産調整がいよいよ具体化してききました。

「米は、消費が減退する一方、生産が著しく増加しているため、恒常的な過剰状態にあり、このような事態に対処して、米の需給の均衡を図ることは、農政上の緊急かつ重要な課題となっています。」

このため、農業者および関係団体の協力を得て、「稲から他作物への作付転換等による米の生産調整の推進を図る」という趣旨のもとに、四十五年産米について一五〇万トン以上減産することを旨とし、このうち一〇〇万トン以上を米の生産調整目標数量として都道府県別に配分され、二月二十三日付で、朝日町に六一二トンの生産調整目標数量の配分が示されました。その六一二トンを朝日町の平均反収で除しますと一三〇ヘクタールの調整面積となり農業共済組合引受面積の七、八%となります。

次に国が示している米生産調整実施要綱(案)について述べますと、一、米の生産調整は、稲作から飼料作物、野菜、果樹、地域特産物等への作付転換を原則とし、土地条件、技術的条件からみて、当面作付転換が困難な場合には、休耕によることもやむを得ないとしている

二、米生産調整計画については、町長が農業者別目標面積を配分した農業者から、米生産調整実施計画の提出を求めること。

三、生産調整奨励補助金の交付対象は、農業者が、昭和四十四年において水稲の作付けが行なわれた水田であって、昭和四十五年に水稲を

作付けしない(水稲から稲以外の他作物へ作付転換)田にのみ交付される。その額は転換休耕田の昭和四十四年度農業共済組合引受基準単収に八十一円を乗じた額が交付される見込みです。(朝日町の平均反収交付見込額三七、九八

心身障害者(児)扶養共済制度が発足します

四月一日から心身障害者(児)扶養共済制度が発足します。

心身に障害あることを持つ親の最も心配なことは、親が死亡したあとの障害児の将来のことでしょう。そこで今度発足する「心身障害者扶養共済制度」は、親(扶養者)がお互いに共済制度に加入して、あとに残された障害者に毎月二万円を支給し、生活の安定を保障しようとするものです。

この制度に加入できるのは、将来独立して社会生活できない障害者を扶養している四十五才未満の方(今年度限り六十五才未満まで加

九円)

四、昨年八月の集中豪雨により被災を受けた未復旧田は、当別の指導では、休耕田として面積に算入され、奨励補助金が交付されないこと云々でしたが、今次の要綱では休耕田としての面積にも算入しないことになりました。

但し、植林をした場合は、奨励金が交付される見込みです。

以上記述しましたが、この公報「あさひ」が町民の皆さんの手に届く時点には、部落協議会等で詳しい説明をきかれることと思います。

最近の良質米への消費者の関心も高まり、ホウネン早生、越路早生等食味のよい米の生産にあわせ、食糧法を堅持するためにも米生産調整問題を正しく理解し、ご協力をお願いします。(産業課)

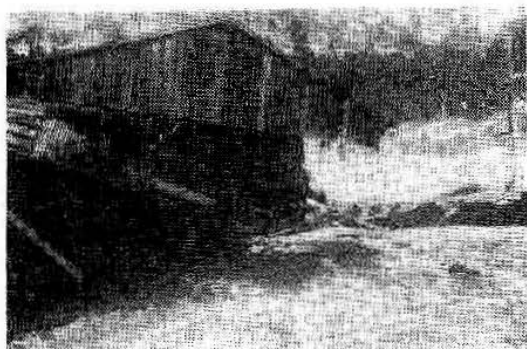
入できる)です。加入についての詳細は地区民生委員、または役場民生課厚生係へおたずねください。(民生課)

おわび

本誌二月号(第一七四号)三頁の「成人式特集」に次の間違ひがありましたので訂正いたしておわびいたします。

記

日東紡紡泊工場長片豊柳・片柳豊



- ②防潮林の被害
- ③防波堤の欠壊

一、八ha
二二〇m

大波で町にも大被害

- ①農地の埋没
- ④漁港の埋没

一、七ha
四、六ha

七、〇〇〇m



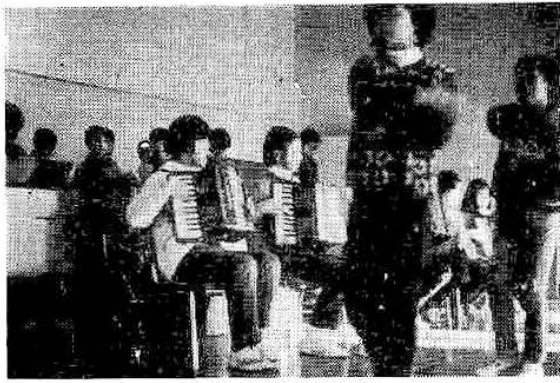
- ⑤橋の流失
- ⑥舟揚場の流失
- ⑦舟の破損
- ⑧岩石積用機械の流失
- ⑨各河川の埋没
- ⑩建物の全半壊

四〇m
一箇所
一箇所
二隻
二四箇所
五七戸

被害総額 五、六五二万円
外に
テトラポットの流失
四、〇〇〇個 一億二千万円
重傷者 一名
(建設課)

写真

上二半壊した境海岸の作業場
左一赤川・東草野地帯防潮林に
押しよせる大波



難のわざとなる。宮崎小学校ではこの意義を考え、校下の鹿嶋神社の春祭りの際(四月)

祖先の文化遺産を守ろう!!

宮崎小で民族芸能稚児舞の保存へ

老人から次の世代へ……数百年にわたり地元で伝えられてきた無形文化の民俗芸能は、時代の流れとともに、伝え知っている古老たちの減少で消えようとしている。民俗芸能は歴史に名も残さない祖先の人々が、祈りや思考、行動の反映としてその身体で伝承した尊い文化遺産である。これが滅びてしまった時には、正確な資料として復元することも至

る。宮崎の稚児舞は、黒の紋付姿で色どりもあざやかな槍を手に、陽旋律に乗って踊る勇壮な武技風の「槍おどり」と、紫の紋付を道中風に着て陰旋律の唄に合わせ、扇や腰の色しごきをひるがえして優雅に舞う「扇舞」の陰陽二つから成り、ともに鎌倉期(約八百年前)に栄えた宮崎城下の華麗な文化を今に残す唯一のものとして伝承される。舞には室町期(約五百年前)頃の風流系の名残りもあって、全国的にも貴重なものである。

選挙とは(八)

……知っておきたい選挙の知識……

これでよいのでしょうか②

このような仁義に極めて厚い方々を多く選び出している県の予算は、「お互いにうまくやろうぜ」という予算が大きくふくれ上がり、教育や公害対策、社会福祉予算が、当然あるべき姿を失ってしまい、しなびたみすばらしいザマタレになってしまふ。即ち望ましき生活予算が影うすい姿になってしまふのである。

このように、政治道義不在の人脈をつくったものは誰なのか。それは候補者の罪か、政党の罪なのか。その他にもっとわるいものは?

「半日仕事を休むことになるべしその日当にあたるゼニ位はね」、「何もくれずに頼むなぞ、頼まれたことになりはせんですわい」、「酒やお菓子のない会合なんて」、「幹部なのに、料理屋か温泉招待を一度だとしてくんねえシミッタレの親分ではね」等々と、この低意識の選挙民の多い地盤では、金肥とアルコー、砂糖の農薬とで、土壌が極度に酸性化し、ヒエ、マルスグのような雑草でなければ当選できなくなる。住民のみなさま、これでよいのでしょうか。(朝日町明正選挙推進協議会)

学校で発行した記録は、坂東教諭の採譜した地唄や、アレンジした合奏曲を五線紙に、舞は習い覚えた児童の形を分解写真に納め、芸能の歴史や意義、環境の教材化の試案等を四十二ページの冊子にまとめている(学校)

郵便局だより

郵政大臣から

米寿者に金盃贈呈

日頃町民の皆さんから愛され育てられている簡易保険では、明治十四年中に生まれた方達に、このほど郵政大臣からの長寿を祝う金盃とお祝



この書状を送りました。

これは、国民の健康増進を願ってつくられた簡易保険事業がはじまつてからことしで五十三年、その加入件数も四千二百五十万件、契約高八兆円、その資金も二兆円と伸びてきていますが、これも、明治、大正、昭和の三代にわたって社会の中堅として生きてこられた人達の協力によるものであり、これらの人達に、今後健康に留意し、やがて白寿(九十九才)の賀を迎えてほしいという趣旨によるもので、泊郵便局区内では二月二十日、野沢郵便局長が各家庭を訪問して、「今後もからだに気をつけて元気で暮らしてください」と金盃とあいさつ状を届けた。

当朝日地区のお祝いを受けた方達は次のとおりです。

谷口えと(小更)
名越ふさ(大家庄)
藤田いと(三枚橋)

(泊郵便局)

△写真上▽野沢局長の手から米寿者に金盃の贈呈

図書館だより

△新着図書▽

日本の名著(日蓮)

家相の科学

富山県の歴史

父山本五十六

創価学会を斬る

現代の子の教師論

子どもに戦争をどう教えるか

六法全書(昭和四十五年版)有斐閣

計算尺入門

食物と健康

五十才からの健康

男の更年期

医者を告発する

漢方の認識

数学のまなび方

小鳥(洋鳥、和鳥の正しい飼いか)

和裁全書

やさしい家庭大工入門

自動車売買

家庭料理十二ヵ月

サボテン園芸

家庭果樹全科

愛犬の飼い方しつけ方

日本万国博覧会公式ガイド

囲碁の初歩から初段まで

初歩の麻雀

大吉攻め麻雀

お茶の道しるべ

大山名人の将棋教室

中央公論社

清家 清

坂井誠一

山本義正

藤原弘達

川上 満

石上正夫

高原健吉

小柳達男

塚原国雄

田多井吉之助

兼子昭一郎

高橋正

弥永昌吉

中川志郎

主婦の友社

永山武史

甲斐道太郎

赤堀全子

伊藤芳夫

永沢勝雄

坂井 大

日本万国博覧会

相場 一宏

斉藤緑風

寺内大吉

千宗室

大山康晴

体協だより



第十四回町民スキー大会 第一回小・中学校記録会

二月十一日 三峰スキー場
(種目一大会転)

- ▽小学校女子
①岡本直美(宮)、②竹谷多喜子(宮)、③石原雅子(南)
- ▽小学校男子五年
①赤川修(泊二)、②森島浩(南)
- ▽小学校男子六年
①殿村誠司(南)
- ▽小学校男子六年
①木村博明(泊二)、②折戸範真(五)、③河村亮三(五)
- ▽中学校女子
河村淳子(五)、河村雅子(五)
- ③長崎千恵子(南)
- ▽中学校男子
①広田慎一郎(五)、②長谷公司(南)、③小杉義弘(山)
- ▽一般女子
①藤田美津子(大)、②本田明子(泊三)
- ▽一般男子二部
①高松喜義(泊二)、②末上洋己

郡民体育大会 第三回スキー大会

二月二十二日 宇奈月大原台
(種目一大会転)

- ▽中学校女子一部
②河村雅子(泊中)
- ▽一般女子
①島端昌子(泊一)、②本田明子(泊三)
- ▽青年男子二部
①藤沢義弘(大)、③小沢孝宏(山)
- ▽青年男子一部
①深松博幸(笹)、③居波小一(泊二)
- ▽成年男子二部
②本村朝男(泊三)
- ▽成年男子一部
①広川良昭(境)
(朝日町体育協会)

団長に入江久君 連青新役員きまる

▽昭和四十五年度役員

- 団 長 入江 久(泊)
- 副 団 長 横谷 賢二(泊)
- 事務局長 山崎 真一(大家庄)
- 常任理事 渡辺 照夫(境)
- 竹内 秀樹(笹川)
- 長井 孝春(笹川)

婦人会活動



泊地区の商店婦人学級

昭和四十四年度文部省委嘱泊商店婦人学級が、泊商店街の主婦を対象に、昨年六月から開級されています(三月で閉級)

商店婦人学級は、高度成長をとげる経済の長期展望の上に立って、商店経営の技術を学び、あわせて一般教養を身につけ、現代に即応する商家の主婦となることをねらいとするもので、学級生は商店の主婦であり店と家事の両立のため、忙しいにもかかわらず、出席率が良く、熱心に勉強され、その熱意がうかがわれます。学習時間には必ず話し合いの場を設け、自分自身に直結した学習内容であるよう努力しています。主に商店経営に力を入れ、簿記をはじめ、優良商店街の見学、お客に対する接客態度、電話の応待、店舗

▽昭和四十五年活動目標
・青年の喜びを高めるために
・青年としておのれのほこりを高

- 善田 和夫(南保)
- 吉田 進(大家庄)
- 鍋島 佐一(山崎)
- 間部 和美(泊)
- 小沢佐代子(山崎)

めるために
・青年としてその存在を知らしめるために
▽活動方針
一、新時代の団体意識を確立しよう
二、明るく住みよい郷土を作ろう
一、友愛の心をそだてよう
(朝日町連合青年団)

陳列の構成、包装と進物のポイント
今後の小売店の方向等について、日頃気のつかないことなど沢山あり、非常に経済知識を身につけるようになりました。その外に、私達の一番大事な健康管理については、婦人病、成人病予防、レクリエーション、体操等健康についての予備知識実技などを学びました。

また老後の生活安定のための設計や、身近な家庭法律、町内の文化と歴史などいろいろな角度から、一般教養を身につけるよう学びました。



今後の商店経営に学級で学んだ知識を充分に取り入れ、明るい商店街の発展に寄与したいと思っています。
(泊婦人会)
写真 泊商店婦人学級の学習風景

万博見学は 自家用車ではダメ

駐車場不足 汽車かバスの利用を全世界の人々が注目するうちに、日本万国博覧会が三月十五日から大阪府下において開催されます。

万博開催期間中は相当の交通ラッシュが予想され、交通事故の激発が心配されています。また会場における駐車場の駐車能力が十分ありませんし、日曜日、祭日、特殊な催し等は相当不足することは必至です。自家用車で見学しようとお考えの方は、もう一度再検討して、汽車やバス等の乗物をご利用ください。また開催期間中は、国道八号線の福井市から京都市内までの制限外積載は、午後十時から午前六時までの夜間に通過する車のみ許可されます(入善警察署)

第四次自衛官募集

募集期間

昭和四十五年三月三十一日まで
採用試験の場所

自衛隊富山連絡部魚津分駐所
(魚津市大町五五)

詳細は役場総務課へ問い合わせください。
(総務課)

学園ひろば

質問にハキハキと

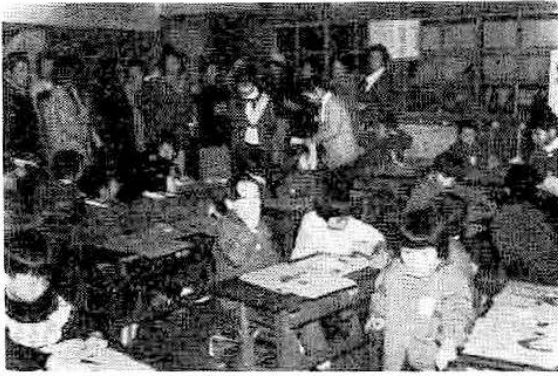
泊小学校で新就学児の半日入学

四月から新しく小学校一年生として入学する児童のために、各小学校では健康診断や半日入学を行なっているが、二月二十五日、泊小学校、(男四九人、女六八人)の半日入学が行なわれた。

この日を心待ちにしていた児童達は、母親に手をひかれ、元気に登校受け付け順に七教室に分かれて知能テストを受けたが、どの子も元気に応答し、早くも一年生になった表情のあと、色紙はりや紙芝居を見たが、この間お母さん達は、入学までの心得や準備について先生と懇談、帰りに大きなおみやげ袋をもらって半日入学を終えた。

終始わが子の行動を見守るお母さん

写真 泊小学校の半日入学風景



県書ぞめ大会で大量入賞

第十一回富山県書ぞめ大会が、二月十一日、富山市体育館に、県内の小・中・高生一、二一七人が参加して行なわれ、朝日町関係では次の児童生徒が一推薦入賞した。

- 小学校一年 長津園子 (山崎)
- 二年 南茂和実 (五箇庄)
- 三年 南茂千景 (同)
- 四年 中島千恵子 (泊)
- 五年 水井修 (大家庄)
- 五年 狩谷智子 (五箇庄)
- 五年 笹原久美子 (同)
- 六年 秋山幸子 (泊)
- 新田譲 (大家庄)
- 中学校一年 吉田尚史 (泊)
- 鍛治弘美 (小川)
- 二年 堂川順子 (同)
- 二年 石井敬子 (同)
- 三年 藤田絹子 (同)
- 三年 上本由美子 (同)
- 水井のり子 (同)
- 松下範子 (泊)
- 赤川博子 (同)

全国学生書道展

にも上位入賞

創玄書道会主催の第六回全国学生書道展が、このほど東京都美術館で約八千九百点が応募して開かれ、朝日町関係では次の三名が「特選」に

選ばれた。

特選

- 松下範子 (泊高)
- 折戸睦栄 (魚津高)
- 湊 明美 (泊中)

(学校)

可愛いお子さんの新入学はもうすぐです
正しい歩行をおしえましょう!!

横断歩道を 手を上げてわたりましょう。
斜めに横断してはいけません まっすぐわたりましょう。

学校へ朝 家を出るときに 注意すること

1. ちこくしないよう早く家を出ます
2. 忘れ物はないか調べます
3. 家からとび出さないように。

歩道のあるところでは 歩道を歩きましょう。

歩道ないところでは、 右はしを歩きましょう。

自動車のすぐ前やすぐ後の横断は危険です。

町内小・中学校

卒業式と入学式

- 卒業式 三月十七日 泊中、小川中
- 三月十九日 境小、南保小、笹川小
- 入学式 三月二十日 泊小、宮崎小、山崎小
- 四月二日 小学校全校
- 四月四日 中学校全校

あなたの財産を火災から守ろう

四月一日から春の火災予防運動

今すてたタバコの温度が七百度

朝日町の昨年中における火災発生件数は十二件で、損害額は七百三十三万円となっています。

最近、異状気象などにより、各地で火災が頻発し、病人や老人、子どもが焼死するといういたましい事例が年々増加の傾向にあります。特にわが北陸地方ではフーン現象という特殊気象のため、最も出火率が高くなる火となりやすい季節になりますので、各家庭では特に次の事項に注意してください。

1. 寝たばこは絶対にしないこと。
2. 雪で破損した煙突は早くみつけ

各地区の区長さんきまる

野中 堀川 清
山崎 安道義雄
大家庄 金森栄松
南保 坂口良造
五箇庄 狩谷常作
泊一区 水島畑次郎
泊二区 西井達吾
泊三区 高松宗繁
笹川 長井直之助
宮崎 扇谷九左衛門
境 水島源太郎
区長会役員
会長 金森栄松
副会長 水島畑次郎
幹事 安達義雄

春の火災予防運動

全国統一標語

「火事の注意も家事のうち」

期 間 四月一日～七日
予防査察 期間中に消防署員、団員に、つて各家庭の査察を行ないます。

サイレン吹鳴方法
朝七時、夜九時の二回
十五秒鳴、六秒休(三四)
(朝日町消防署)

野も山も庭も緑に

苗木即売会案内

ことしも四月一日から全国あげての緑化運動が展開され、緑化の推進計画が組まれています。

昨年は、砺波市瀬成山に天皇・皇后陛下をお迎えして、第二十回全国植樹祭が挙行され、富山県民にとっては誠に意義深い年でした。

植樹は治山、治水に、また環境衛

生の上からも欠くことのできないものです。

この緑化運動に呼応し、次のとおり苗木即売会を開催いたしますからぜひご利用ください。

各家庭にひとり一本の植樹で緑化に協力しましょう。

記

一、期日 三月二十八日(土)

二、場所 朝日町役場前

主催 東部林業協会

後援 朝日町緑化推進委員会
魚津農地林務事務所
朝日町役場
朝日町森林組合
(産業課)



行政相談所

日時 毎月第一日曜日

場所 朝日町婦人会館(職安二階)

日時 毎月第三日曜日

場所 朝日町職工会館

日時 毎週月曜日(祭日除く)

場所 午前十時～午後三時

場所 朝日町婦人会館

場所 朝日町職工会館

場所 朝日町職工会館

場所 朝日町職工会館

場所 朝日町職工会館



よろこびの人

東草野 岡本不二夫、南保 谷踏

子 大屋 梅沢和喜夫、入善 黒部代

子 南保 谷勝昭、南保 谷智恵子

子 蛭谷 善田和夫、南保 善田ヨシ

子 赤川 梅沢和喜夫、入善 黒部代

子 南保 谷勝昭、南保 谷智恵子

子 蛭谷 善田和夫、南保 善田ヨシ

赤ちゃん誕生

沼保 大村孝之 二女 佳子

山崎 谷 勝由 長男 勝幸

月山 西田龍憲 長男 敏志

草野 折戸 勇 長女 貴子

沼保 中島信安 長女 美恵子

赤川 松倉彰夫 三女 睦子

山崎 水野隆明 長女 雪江

横水 稲垣 武 長男 和博

境 兵庫俊香 二男 秀典

荒川 伊藤信彦 長男 寛章

横道 山本英雄 長女 美智子

草野 吉江 昇 長女 晴美

下山新 森野留雄 長女 由香子

道下 下沢明 長女 宏樹

横尾 越坂邦夫 長男 紀久

東草野 根建武義 二男 強

東草野 寺崎龍雄 長男 義治

南保 堀地英雄 二男 光司

草野 浜田孝雄 二男 朱里

桜町 西田 攻 長女 正成

平柳 廣川 昇 長男 正成

なくなった人

山崎 安達 キヨ (六七才)

沼保 加賀 やい (六八才)

三枚橋 小川 きよ (六七才)

月山 笠原 寿文 (一才)

大家庄 清水常次郎 (七二才)

赤川 竹内 えと (七八才)

横水 長谷川 せん (六五才)

横水 大井 潔 (五七才)

横水 大平政次郎 (六九才)

横水 青木 さと (八七才)

山崎 花房 信義 (七二才)

蛭谷 松原 ちい (九一才)

境 水島佐次郎 (六三才)

山崎 花房 時夫 (二九才)

沼保 池田 ツヤ (七〇才)

横尾 細川 量作 (六八才)

山崎 中野 さと (八四才)

南保 中山 たけ (八一才)

朝日町の人口

(二月三十一日現在)

男 九、三七二

女 一〇、七七二

計 二〇、一四四

世帯数 五、〇三三

先月の交通事故

(朝日町管内)

件数 三件

死亡者 一人

負傷者 二人

郵便番号	九三九〇七
送付料	六六円
印刷所	朝日町役場
編集兼発行	朝日町役場